

第2章 子どもが大切にされるまち

子どもたちが、地域の「絆」の中でしっかりと学び、健やかに育っていけるよう、家庭、地域、学校などがそれぞれの役割を果たし、一体となって子どもが大切にされるまちをめざします。

◆施策体系


1 子ども支援
1 子どもの育成支援の充実
2 子育て家庭への支援の充実
3 地域における子育て支援の充実
2 子ども福祉
1 障害児支援の充実
2 養育環境に配慮した支援の充実
3 子育て環境
1 幼児教育の支援
2 就学前児童の保育の充実
3 放課後児童クラブの充実
4 青少年健全育成
1 家庭・地域・学校みんなで青少年の健全育成
2 青少年健全育成の支援
3 青少年の教育及び体験活動の充実
5 学校教育
1 確かな学力と自立する力の育成
2 豊かな心の育成
3 地域が信頼する学校づくりの推進
4 健やかな体の育成
5 学校環境整備の推進
6 学習環境の整備
7 教育環境の充実

第1節 子ども支援

◆◆◆評価指標◆◆◆

こども支援センター(子育て支援)の利用者満足度				こども支援課				
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	98.35		実績値	100	100	100	100	100
単位: %		実績値	未確定					

こども支援センター(子育て支援)の利用者の満足度を測る指標です。
 現 状:平成29年度の利用者に対するアンケートで「こども支援センター(子育て支援)の事業内容等について満足している」と答えた人の割合です。
 目 標:毎年度100%をめざすものです。



2-1-1 子どもの育成支援の充実

(千円)

最優先	概要	ところっこ親子ふれあい絵本事業	こども支援課	新規	R2	1,844
				期間: R2~	R3	1,804
		少子化・核家族化の進行、地域のつながりの希薄化により、孤立しがちな子育て世帯に、親子のふれあう機会を提供するとともに、身近な地域の子育て支援事業とつなげるため、絵本の読み聞かせを通じて絵本の配布事業を庁内連携により実施するものである。	R4	1,804		
			R5	1,804		
優先	概要	こども支援センター運営事業(子育て支援)	こども支援課	指標 既存	R2	35,809
				期間: H28~	R3	35,809
		こども支援センターの子育て支援エリアにおいて、4歳未満の乳幼児の親子が安心して遊ぶことができる交流施設(ひろば)の運営及びところっこ子育てサポート事業担当による利用者支援事業を行う。	R4	35,809		
			R5	35,809		
重要		児童手当支給事業	こども支援課	既存	R2	4,926,001
		子ども医療費助成事業	こども支援課	既存	R2	1,129,240
		ひとり親家庭等の医療費助成事業	こども支援課	既存	R2	149,829

2-1-2 子育て家庭への支援の充実

(千円)

重要	病児・病後児保育事業	こども支援課	既存	R2	30,373
	一般型一時預かり事業	こども支援課	既存	R2	81,129
	ところっこ子育てサポート事業	こども支援課	指標 既存	R2	2,437
	児童扶養手当支給事業	こども支援課	既存	R2	933,787

2-1-3 地域における子育て支援の充実

(千円)

重要	地域子育て支援拠点事業	こども支援課	既存	R2	88,561
	ファミリーサポート事業	こども支援課	指標 既存	R2	15,180
	子ども広場設置・整備費補助金	青少年課	既存	R2	1,000

◆◇◆事業目標

2-1-1 こども支援センター(子育て支援)の利用者数			こども支援課					
H29			R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	85,856	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
	単位:人	実績値	未確定					

こども支援センター(子育て支援)を利用している人数を示す指標です。
 現 状:平成29年度にこども支援センター(子育て支援)を利用した延人数です。
 目 標:毎年度60,000人以上をめざすものです。



2-1-2 ところっこ子育てサポート事業相談件数(基本型・特定型)			こども支援課					
H29			R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	872	目標値	900	900	900	900	900	900
	単位:件	実績値	未確定					

子育て家庭を対象とした相談件数を示す指標です。
 現 状:平成29年度のところっこ子育てサポート事業において利用者支援専門職員が相談を受け付けた件数です。
 目 標:毎年度900件以上をめざすものです。



2-1-3 ファミリーサポート事業の年間利用件数			こども支援課					
H29			R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	12,155	目標値	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
	単位:件	実績値	未確定					

子育て支援体制の充実度を示す指標です。
 現 状:平成29年度のファミリーサポート事業を利用した延件数です。
 目 標:毎年度17,000件以上をめざすものです。
 ※目標値については、平成30年度より集計方法が変更になったことによる見込み値です。



こども支援センターの様子

第2節 子ども福祉

◆◆◆評価指標◆◆◆

子ども支援センター(発達支援)の利用者満足度				子ども福祉課				
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	93		実績値	100	100	100	100	100
単位: %		実績値	未確定					

子ども支援センター(発達支援)の利用者の満足度を測る指標です。
 現 状: 平成29年度の利用者に対するアンケートで「子ども支援センター(発達支援)の事業内容等について満足している」と答えた人の割合です。
 目 標: 毎年度100%をめざすものです。



2-2-1 障害児支援の充実

(千円)

最優先	医療的ケア児支援体制整備事業	子ども福祉課		新規	R2	300	
			期間: R2~		R3	0	
	概要	医療的ケア児を受入れている障害児通所支援事業所に対し、支援に必要な設備や備品購入の補助を行い、医療的ケア児の受入れ支援を行う。				R4	0
					R5	0	
優先	障害児通所支援事業	子ども福祉課		既存	R2	1,130,254	
			期間: H24~		R3	1,130,254	
	概要	児童福祉法に基づき指定を受けた通所支援事業所において、障害児が日常生活の基本動作の指導や集団への適応訓練を受けた場合等に、給付費を支給する。				R4	1,130,254
					R5	1,130,254	
重要	子ども支援センター運営事業(発達支援)	子ども福祉課		指標 既存	R2	142,924	
			期間: H28~		R3	142,924	
	概要	子ども支援センターの発達支援エリアにおいて、発達障害に関する事業として、相談支援、子どもの特性に応じた通所支援、研修・啓発などの地域支援を行う。				R4	142,924
					R5	142,924	
重要	レスパイトケア事業	子ども福祉課		既存	R2	24,324	
	介護給付費事業(障害児)	子ども福祉課		既存	R2	44,928	
	障害児地域生活支援事業	子ども福祉課		既存	R2	15,640	
	身体障害児補装具費支給事業	子ども福祉課		既存	R2	25,328	
	難聴児補聴器購入費助成事業	子ども福祉課		既存	R2	892	
	自立支援医療給付事業(育成医療)	子ども福祉課		既存	R2	7,923	
	かしの木学園運営事業	子ども福祉課		既存	R2	76,844	
	発達障害児等子育て応援事業	子ども福祉課		既存	R2	241	
	障害児相談支援事業	子ども福祉課		既存	R2	21,404	
	松原学園運営事業	松原学園		既存	R2	59,475	

2-2-2 養育環境に配慮した支援の充実

(千円)

重要	児童家庭相談事業	子ども支援課		指標 既存	R2	20,276
	ひとり親家庭等自立支援事業	子ども支援課		既存	R2	29,004
	児童虐待防止対策事業	子ども支援課		既存	R2	6,940

◆◇◆事業目標


2-2-1 こども支援センター(発達支援)の利用者数			こども福祉課					
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	19,517	目標値	21,800	21,900	22,000	22,100	22,200	22,300
単位:人		実績値	未確定					

こども支援センター(発達支援)を利用している人数を示す指標です。
 現 状:平成29年度にこども支援センター(発達支援)を利用した人数です。
 目 標:毎年度100人の増加をめざすものです。



2-2-2 児童家庭相談の件数			こども支援課				
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	844	目標値	900	900	900	900	900
単位:件		実績値	未確定				

子どもに関する相談体制の充実度を示す指標です。
 現 状:平成29年度のこども相談センターが対応した児童家庭相談件数です。
 目 標:毎年度900件以上をめざすものです。



第3節 子育て環境

◆◆◆評価指標◆◆◆

就学前児童の保育待機児童数		こども政策課						
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	26		10	5	0	0	0	0
単位:人		実績値	14					

国が実施する保育所等利用待機児童数調査の際に示される要領に基づき算出した、就学前児童の保育にかかる待機児童数を示す指標です。
 現 状:平成29年4月1日現在の待機児童数です。
 目 標:令和3年度までに、0人をめざすものです。



2-3-1 幼児教育の支援

2-3-2 就学前児童の保育の充実

(千円)

最優先	概要	教育・保育施設等整備事業	こども政策課	指標	既存	R2	45,000	
		期間: H29~						R3
概要		就学前児童の保育に係る待機児童を解消するため、保育園、認定こども園、小規模保育事業所の創設、増改築等を行う事業者に対して、施設整備の補助を行うとともに、その他の待機児童対策も進めていくことにより、保育の受入枠を増やし、安定した保育の提供を図る。					R4	未定
						R5	未定	
最優先	概要	保育園給食調理業務委託事業	保育幼稚園課		既存	R2	188,010	
		期間: H28~				R3	192,060	
概要		給食調理業務においては、現業職員不補充の中、園児の食物アレルギーへの対応等、複雑かつ高度化する保育園給食に対応する取組が求められている。安心・安全な給食を将来的に安定して提供し、食育の推進を図るため、計画的な委託化を進めるものである。					R4	192,060
						R5	192,060	

優先	概要	保育園人材派遣活用事業	保育幼稚園課		新規	R2	23,541	
		期間: R2~						R3
概要		公立保育園は、正規職員及び臨時的任用職員で運営を行っている。近年保育士不足が慢性化しており、臨時的任用職員の応募が少なく確保が難しい状況が続いている。このため、労働者派遣事業所を活用し、保育人材を確保することで、保育の質を保つものである。					R4	23,541
						R5	23,541	
優先	概要	保育士宿舍借上補助事業	保育幼稚園課		新規	R2	84,747	
		期間: R2~				R3	84,747	
概要		待機児童対策として全国的に保育園等が新設されたことにより、保育人材の確保が困難な状況にある。本事業は、民間保育園等の事業者が保育士用の宿舍を借り上げる場合の費用を補助することにより、保育士の確保を図るものである。					R4	84,747
						R5	84,747	
優先	概要	特定教育・保育施設等保育の質改善費補助事業	保育幼稚園課	指標	既存	R2	327,355	
		期間: H27~				R3	327,355	
概要		子ども・子育て支援新制度の創設に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に対する給付制度が導入され、国は保育士等の処遇改善等を通して質の改善をめざしている。市も単独事業として民間保育園等に対し、保育の質改善のための補助を行うものである。					R4	327,355
						R5	327,355	
優先	概要	障害児保育事業	保育幼稚園課	指標	既存	R2	107,918	
		期間: H3~				R3	107,918	
概要		市内に居住する心身障害児を健常児とともに保育する民間保育園等に対し、補助金を交付することにより、障害児・健常児相互の健全な育成に寄与し、もって福祉に増進を図るものである。					R4	107,918
						R5	107,918	

2-3-3 放課後児童クラブの充実

(千円)

最優先	概要	児童クラブ施設整備事業(富岡児童クラブ)	青少年課	指標	既存	R2	4,006	
		期間: R2						R3
概要		児童クラブ施設における狭隘化や大規模児童クラブの解消のための施設整備を行い、国から示された基準に基づき条例で定めた面積要件を満たすための施設整備を進めるものである。令和2年度は、定員を大きく超えている富岡児童クラブを対象として整備を行う。					R4	
						R5		

最優先	放課後児童健全育成事業(民設民営児童クラブ)	青少年課	指標	既存	R2	92,165
			期間: R2~R5		R3	122,104
	概要	市内で狭隘化や大規模化等が課題の小校区へ民設民営の児童クラブを誘致・委託し、面積基準の改善を図る。これまでの6クラブに加えて、令和2年度に、2クラブを新設し、合計8クラブを設置する。さらに、令和3年度に新設予定の2クラブ分の債務負担行為を別途設定する。	R4	120,104		
			R5	120,104		
			児童クラブ施設整備事業(椿峰児童クラブ)	青少年課	指標	既存
期間: R元~R2		R3				
概要	椿峰児童クラブ用地については、土地所有者から早急な土地返還に係る要望があり、クラブ移設の必要が生じたことから、令和元年度に仮施設へ移転し、令和2年度に椿峰小学校内に新施設の整備を行うとともに既存施設の解体等を行う。	R4				
		R5				

重要	放課後児童対策一体運営事業(中富小学校)	青少年課	指標	既存	R2	8,690
	児童クラブ運営事業	青少年課	指標	既存	R2	351,214
	放課後こども健全育成基本方針推進事業	青少年課		既存	R2	304
	放課後子ども総合プラン推進事業	青少年課		既存	R2	0
	放課後児童クラブ子育て支援事業	青少年課	指標	既存	R2	52,620

◆◇◆事業目標

2-3-1 幼稚園型一時預かり事業の利用者数		保育幼稚園課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	104,651	目標値	104,700	105,000	105,000	105,000	105,000
単位:人		実績値	未確定				

幼稚園型一時預かり事業(私立幼稚園預かり保育事業含む)を利用している人数を示す指標です。
 現 状:平成29年度の延利用者数です。
 目 標:令和2年度までに、105,000人をめざし、その後、維持をめざすものです。

2-3-2 就学前児童の保育施設の利用者数		こども政策課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	5,572	目標値	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000
単位:人		実績値	5,884				

就学前児童の保育施設を利用している人数を示す指標です。
 現 状:平成29年4月1日現在の利用者数です。
 目 標:令和3年度までに、最大6,000人が利用できることをめざすものです。

2-3-3 放課後児童クラブの利用者数		青少年課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	2,250	目標値	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458
単位:人		実績値	2,323				


就学児童の児童館生活クラブ及び児童クラブを利用している人数を示す指標です。
 現 状:平成29年4月1日現在の利用者数です。
 目 標:毎年度、必要なサービス量である2,458人をめざすものです。

第4節 青少年健全育成

◆◆◆評価指標◆◆◆

青少年健全育成に関する施策の満足度			青少年課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	28.0	目標値	28.5	29.0	29.5	30.0	30.5	31.0
単位: %		実績値	16.1					

青少年健全育成の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 現 状: 平成29年度の市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「青少年健全育成」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 目 標: 毎年度0.5ポイントの増加をめざすものです。



2-4-1 家庭・地域・学校みんなで青少年の健全育成

(千円)

重要	「家庭の日」推進事業		青少年課		既存	R2	330
					指標	既存	R2
	ふれあいタウン事業		青少年課		既存	R2	1,466

2-4-2 青少年健全育成の支援

(千円)

最優先	児童館施設整備事業		青少年課		新規	R2	27,819	
					期間: R2		R3	
概要	老朽化する施設について、「所沢市公共建築物修繕計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。令和2年度は、ひばり児童館の屋上防水改修工事を実施する。						R4	
						R5		

重要	児童館運営事業		青少年課		指標	既存	R2	421,709
						既存	R2 <td>5,850</td>	5,850
		キャンプ用品等貸出事業		青少年課		既存	R2 <td>377</td>	377
		青少年相談員協議会補助金		青少年課		既存	R2 <td>72</td>	72

2-4-3 青少年の教育及び体験活動の充実

(千円)

重要	子ども会育成事業		社会教育課			既存	R2	2,346	
						既存	R2 <td>549</td>	549	
		所沢こどもルネサンス開催支援事業		社会教育課		指標	既存	R2 <td>3,226</td>	3,226
		子ども写生大会開催事業		社会教育課		既存	R2 <td>266</td>	266	

◆◆◆事業目標

2-4-1 「三つ葉の提言」の配布数			青少年課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	3,353	目標値	3,400	3,400	3,400	3,500	3,500	3,500
単位: 件		実績値	3,683					

家庭・地域・学校が連携を深めて青少年健全育成を図る目的で策定した「三つ葉の提言」の普及状況を図る指標です。
 現 状: 平成29年度に「三つ葉の提言」(版を含む)を街頭キャンペーン等にあわせて配布した数です。
 目 標: 令和6年度までに3,500件をめざすものです。



2-4-2 児童館利用者数

青少年課

		H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	364.9	目標値	現状値以上					
単位:千人	実績値	未確定						

青少年の健全育成活動の推進状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度の市内11児童館における利用者延人数です。
 目 標:毎年度、現状値以上をめざすものです。



2-4-3 所沢こどもルネサンス事業参加率

社会教育課

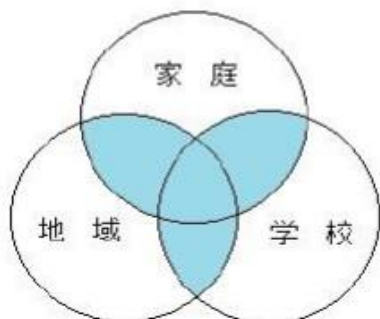
		H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	27	目標値	27.5	28	28.5	29	29.5	30
単位:%	実績値	未確定						

青少年の体験活動への参加状況を測る指標です。
 現 状:平成29年度の所沢こどもルネサンス事業への市内児童生徒の参加率です。
 目 標:令和6年度までに30%をめざすものです。



「三つ葉の提言」 所沢市青少年問題協議会

提言(H17.3)



家庭・地域・学校と三つの領域が重なる所を三つ葉にたとえ、家庭でも地域でも学校でも、どこでも子どもたちに声をかけ、あいさつし、時には注意し、大人が自信を持って教育力を高めていきましょう。

「四つの行動目標」

- I 家庭のあり方をもう一度見つめなおそう
- II 地域社会の持つ「地域力」を高めよう
- III 家庭・地域・学校の連携を深めよう
- IV 子どもの生きる力を信じて夢を与えよう

サッカー大会



第5節 学校教育

◆◆◆評価指標◆◆◆

埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸び		学校教育課						
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	2	2	2	2	2	2	2	2
単位:レベル (※)		実績値	2.0					

確かな学力の育成の達成度を示す指標です。
 現 状:平成29年度の埼玉県学力・学習状況調査における小4から小5、小5から小6、中1から中2、中2から中3への各教科(国語、算数・数学、英語)の学力レベルの伸びの平均です。
 目 標:毎年度2.0以上の学力レベルの伸びをめざすものです。
 ※「どのくらい難しい問題を解く力があるか。」を学力のレベルで表している。レベルが上がるほど、難易度の高い問題を解く力がある。



2-5-1 確かな学力と自立する力の育成

(千円)

最優先	「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	学校教育課	指標	既存	R2	2,251	
			期間: H23~		R3	2,251	
	概要	従来の取組を引き継ぎ、児童生徒の「必要感・達成感」を大切にすること、一人一人に寄り添い「自己肯定感」を高めること、学校・家庭・地域が手をつなぎ、「未来を切り拓く力」を育成することを「行動方針の3つの柱」とし、児童生徒の学力向上を図る。				R4	2,201
					R5	2,251	
優先	特別支援教育支援員等配置事業	学校教育課		既存	R2	185,787	
			期間: H20~		R3	185,787	
	概要	小・中学校、所沢第二幼稚園において、通常学級で教育上支援を必要とする児童生徒の学校生活を支援する特別支援教育支援員と特別支援学級で支援する心身障害児介助員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実を図るものである。				R4	185,787
					R5	185,787	
	部活動指導員配置事業	学校教育課		既存	R2	1,479	
			期間: R元~		R3	1,479	
	概要	地域人材の活用により、教職員の負担軽減及び部活動の充実を図る。				R4	1,479
					R5	1,479	
	教育センター空調設備改修事業	教育センター		新規	R2	82,852	
			期間: R2		R3		
概要	教育センター新館に設置された空調設備が、法定耐用年数である13年及び計画耐用年数である15年を経過し、保守・運用に支障が出ているため、改修工事を行うものである。				R4		
				R5			
学習指導要領改訂に伴う英語教育推進事業	教育センター		既存	R2	1,239		
		期間: H27~		R3	4,123		
概要	小学校における新学習指導要領の全面実施に伴い、5・6年生の英語の教科化、3・4年生の外国語活動による英語教育の早期化が始まることに対し、英語教育の更なる充実を図るため研修教科による入門期の充実と小中学校の一層の連携を推進し取組むものである。				R4	未定	
				R5	未定		
小学校外国語活動推進事業	教育センター		既存	R2	13,113		
		期間: H23~		R3	13,113		
概要	小学校外国語活動の充実を図るため、担任による外国語活動の授業の補助を行う支援員を配置するものである。				R4	13,113	
				R5	13,113		
重要	学力向上支援講師配置事業	学校教育課		既存	R2	30,537	
	確かな学力定着事業	学校教育課		既存	R2	22,997	
	教育課題に対応した学力向上推進事業	教育センター		既存	R2	90,865	
	資質向上事業	教育センター		既存	R2	1,270	

2-5-2 豊かな心の育成

(千円)

最優先	スクールカウンセラー学校派遣事業	学校教育課		既存	R2	14,393
			期間: R元~		R3	14,393
	概要	心理学系の大学院の修士課程を修了した者をスクールカウンセラーとして市費で任用し、小・中学校に派遣する。学校教育課健やか輝き支援室の心理士や県費スクールカウンセラー等と連携し、児童生徒の悩みや困難さについてきめ細かな相談・支援を行う。			R4	14,393
					R5	14,393
	教育相談アドバイザー支援事業	教育センター		新規	R2	400
			期間: R2~		R3	400
概要	複雑ないじめ問題や自殺防止など、本市の児童生徒の抱える課題解決のため、教育相談アドバイザー制度を設置し、心理・福祉・医療の三分野の専門的な見地から、学校へ指導、助言、及び教育的対応を支援するものである。			R4	400	
				R5	400	

優先	健やか輝き支援事業	学校教育課		指標	既存	R2	62,535
			期間: H14~		R3	62,535	
	概要	いじめ・非行問題行動・怠学による不登校等の課題を抱える児童生徒、保護者、学校に対し、専門家(元校長・心理士・警察OB等)を含むサポートチームの編成や、各校に配置する心のふれあい相談員による相談活動、大学や関係諸機関との連携により支援を行う。			R4	62,535	
					R5	62,535	
	学校司書配置事業(小・中学校)	学校教育課		既存	R2	35,536	
			期間: H6~		R3	35,536	
概要	学校図書館の円滑な運営とより一層の充実により、子どもたちの豊かな心の育成を図るため、学校図書館担当教員(司書教諭)の補助として、学校司書(臨時的任用職員)を配置する。			R4	35,536		
				R5	35,536		

重要	就学相談事業	学校教育課		既存	R2	4,518
	教育相談事業	教育センター		既存	R2	35,960
	豊かな心育成支援事業	教育センター		指標	既存	R2

2-5-3 地域が信頼する学校づくりの推進

(千円)

優先	小学校教科書改訂に伴う教科書等整備事業	教育総務課		新規	R2	94,072
			期間: R2		R3	
	概要	小学校の教科書改訂にあたり、教員用の教科書及び指導書等について整備するものである。			R4	
					R5	
	安全・安心な学校と地域づくり推進事業	学校教育課		既存	R2	12,979
			期間: H17~		R3	12,979
概要	学校と地域が連携して危機管理体制を整え、学校内外での事故や事件を未然に防止するとともに、地域の防犯体制の強化・交通安全の推進を図るため、安全で安心な学校と地域の構築に向けて学校を支援する。			R4	12,979	
				R5	12,979	

重要	学校法律相談事業	学校教育課		既存	R2	1,320	
	特色ある学校づくり支援事業	学校教育課		指標	既存	R2	11,904
	地域人材活用事業	学校教育課		指標	既存	R2	2,700

2-5-4 健やかな体の育成



(千円)

優先	清進小学校給食室空調設備改修事業	保健給食課			新規	R2	16,852	
			期間: R2			R3		
	概要	清進小学校給食室の調理場内には配膳室以外エアコンが設置されていないことから、学校給食衛生管理並びに、労働環境の改善のためエアコンを設置するものである。					R4	
						R5		
	三ヶ島小学校給食室公共下水道接続事業	保健給食課			新規	R2	22,682	
		期間: R2			R3			
概要	令和2年度に計画されている三ヶ島小学校の公共下水道接続工事に併せて、給食室の公共下水道接続工事を実施するものである。					R4		
					R5			
学校給食センター再整備事業	保健給食課		指標	既存	R2	91		
		期間: H29~R20			R3	36,391		
概要	老朽化した第3学校給食センターに代わる新たな学校給食センターを、第2学校給食センター跡地に整備するにあたり、財政負担を考慮し、効率化・効果的に事業を行うためPFI手法の導入をめざすものである。					R4	未定	
					R5	未定		

重要	地域力活用運動好きな子ども育成事業	スポーツ振興課			既存	R2	234
	児童生徒体力向上推進委員会交付金	スポーツ振興課			既存	R2	198
	小学校体育連盟補助金	スポーツ振興課			既存	R2	380
	中学生体力調査事業	スポーツ振興課		指標	既存	R2	1,269
	中学校体育連盟補助金	スポーツ振興課			既存	R2	968

2-5-5 学校環境整備の推進

(千円)

最優先	小学校施設整備事業	教育施設課				新規	R2	186,722
				期間: R2			R3	
	概要	「所沢市公共建築物修繕計画」に基づいて計画的に整備し、小学校施設の延命化及び安全上適正な管理を図る。令和2年度は北秋津小、並木小、柳瀬小、林小、宮前小の改修を行う。					R4	
						R5		
	中学校施設整備事業	教育施設課				新規	R2	95,282
		期間: R2			R3			
概要	「所沢市公共建築物修繕計画」に基づいて計画的に整備し、中学校施設の延命化及び安全上適正な管理を図る。令和2年度は柳瀬中、北野中の改修を行う。					R4		
					R5			
所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業	教育施設課				既存	R2	535,656	
		期間: R元~R3			R3	360,052		
概要	平成29年10月に発生した山口中学校西側擁壁の崩壊を契機に実施した、崩壊を免れた周辺擁壁の安全性の調査結果に基づき、必要な改修等を実施し、より安全性を高める。					R4		
					R5			

優先	学校トイレ改修事業	教育施設課		指標	既存	R2	537,905※	
			期間: H26~R3			R3	550,325	
	概要	学校施設の老朽化対策の一環として、校舎1系統のトイレについて、洋式化やバリアフリー対策、また臭気対策等の対応、給排水管の改修を行い、計画的に学校環境の向上を図る。 ※R元からの繰越: 509,069千円+R2: 28,836千円					R4	
						R5		
	学校施設修繕・改修事業	教育施設課			既存	R2	459,553	
		期間: S30~			R3			
概要	老朽化に伴い、機能低下や損傷が進んでいる学校施設の修繕・改修を行い、学校環境の向上を図る。					R4		
					R5			

2-5-6 学習環境の整備

(千円)

最優先	教育ネットワーク整備事業(校内LAN整備)	教育センター		既存	R2	533,531※
			期間: R元~R2		R3	
	概要	タブレット、電子黒板等ICTを活用した授業が今後増加していくため、教育ネットワークを拡張し、市内各小・中学校(47校)における校内LANを整備するものである。 ※R元からの繰越:533,531千円				
					R4	
					R5	
優先	教育ネットワーク整備事業(パソコン教室用ネットワーク機器等更新)	教育センター		新規	R2	6,529
			期間: R2		R3	
	概要	小・中学校のパソコン教室において、安定したICT授業を実施するために、老朽化したネットワーク機器を更新するものである。				
					R4	
					R5	
	小学校プログラミング教育事業(プログラミング教材導入)	教育センター		新規	R2	3,844
			期間: R2		R3	
	概要	児童にプログラミングの楽しさや面白さ、達成感などを味わえる題材などによりプログラミングを体験させることで、論理的に考えていく力の資質・能力を育成するためのプログラミング教材を購入するものである。				
					R4	
					R5	
	デジタル教科書導入事業(コンテンツ配信サービス試行的導入)	教育センター		新規	R2	414
			期間: R2		R3	
概要	各教科の学習における主たる教材である教科書について指導者用デジタル教科書として、インターネット環境を利用したコンテンツ配信サービスを試行的に導入するものである。					
				R4		
				R5		
教育用コンピュータ更新事業(小学校)	教育センター		新規	R2	51,150	
		期間: R2		R3		
概要	平成26年度に市内の小学校(16校)に導入した教育用コンピュータ656台の更新に加え、児童用を80台、教師用を288台追加し、合計1,024台の教育用コンピュータの整備を行うものである。					
				R4		
				R5		
電子黒板導入事業	教育センター		指標	既存	R2	14,334
		期間: R元~R6			R3	14,230
概要	小中学校に、児童生徒の学習への興味・関心を高め、学習効果を上げるための電子黒板を38台増設するものである。					
					R4	14,230
					R5	14,230

重要	父母負担軽減補助金交付事業	教育総務課		既存	R2	9,785
	就学援助事業	教育総務課		既存	R2	173,002
	ICT推進事業	教育センター		既存	R2	51,763
	小・中学校校務支援システム運用事業	教育センター		既存	R2	15,661
	教育用コンピュータ整備事業	教育センター		既存	R2	59,878
	校務用コンピュータ整備事業	教育センター		既存	R2	29,189

2-5-7 教育環境の充実

(千円)

重要	私立学校誘致推進事務	経営企画課		指標	既存	R2	0
----	------------	-------	--	----	----	----	---

◆◆◆事業目標

2-5-1 学力向上推進事業における研究委託校数		学校教育課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	20	現状維持					
単位:校	実績値	20					

各学校における研究実践とその成果の発表により、市内全小中学校の教育力向上を図るために研究を委託した学校数を示す指標です。
 現 状:平成29年度の学力向上推進事業における市内小中学校の研究委託校数です。
 目 標:現在の研究委託校数の維持をめざすものです。

2-5-2 いじめ解消率の小・中の割合※

学校教育課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	51.2	目標値	60	61	62	63	64	65
	単位：%	実績値	43.5					

「豊かな心を育成する」教育の充実に取り組んだ成果を測る指標です。
 現 状：平成29年度(12月末時点)におけるいじめ解消に至った割合です。
 目 標：令和6年度までに65%をめざすものです。



※平成29年度に「いじめ解消」の要件が変更となりました。「いじめ解消」状態とは、3ヶ月を目安とした相当期間いじめ行為が止んでいることと、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが新たな要件となります。

2-5-3 特色ある学校づくり支援事業で活用した地域人材の人数

学校教育課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	5,603	目標値	6,110	6,110	6,110	6,110	6,110
	単位：人	実績値	未確定				

特色ある学校づくり支援事業で活用した地域人材の人数です。
 現 状：平成29年度の市内小中学校において学校応援団として活動に携わった延人数です。
 目 標：毎年度、埼玉県の一校あたりの地域人材活用平均想定人数である6,110人(平成29年度の県実績数)をめざすものです。



2-5-4 学校給食センターの再整備

保健給食課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	調査	目標値	調査	検討	検討	設計	建設	運営
	単位：—	実績値	調査					

学校給食センター再整備の取り組み状況を示す指標です。
 現 状：平成29年度の状況です。
 目 標：令和6年度中からの運営をめざすものです。



2-5-4 学校給食における残食率

保健給食課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	6	目標値	7	7	7	7	7
	単位：%	実績値	未確定				

1年間の市内小中学校の給食の配食量に対する残食量の割合を示す指標です。
 現 状：平成29年度の市内小中学校の合計の残食率です。
 目 標：毎年度、残食率7%以下をめざすものです。



2-5-4 体力テストにおける上位ランクの生徒の割合(中学校)

スポーツ振興課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	87.9	目標値	88.2	88.4	88.6	88.8	89.0	89.2
	単位：%	実績値	87.3					

新体力テストの総合評価(文部科学省が示すテストの種目ごとの得点から換算)が5段階中の上位3ランクの評価となった生徒の割合を示す指標です。
 現 状：平成29年度における割合です。
 目 標：毎年度0.2ポイントの増加をめざすものです。



2-5-5 学校トイレの洋式化率

教育施設課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	35	41	44	47	50	53	56
目標値							
実績値	44.2						

学校環境整備の進捗状況を示す指標です。

現 状:平成29年度までの所沢市立小中学校のトイレの洋式化率です。

目 標:令和6年度までに56%をめざすものです。



2-5-6 市内小中学校における電子黒板の導入割合

教育センター

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	17	24	29	35	40	45	50
目標値							
実績値	24						

「ICT環境整備」に資する電子黒板の導入割合を示す指標です。

現 状:平成29年度の普通教室1室に対する電子黒板の導入割合です。

目 標:令和6年度までに効果検証を図りながら50%をめざすものです。



2-5-7 特色ある私立学校の誘致

経営企画課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	推進	推進					
目標値							
実績値	推進						

私立学校の市内設置に関する誘致を進めるため、教育機関等への誘致活動を示す指標です。

現 状:市内への学校設置を検討している法人の相談や情報提供に対応しています。

目 標:計画期間中の誘致活動を推進するものです。



